



いまだ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症。しかし、どのような状況にあっても、政治には活力ある次の時代を創っていく責任があります。コロナ対策に万全を期すとともに、将来世代に光を当てた政策を着実に推進してまいります。

## 「ヤングケアラー」を知る、支える取組を



ヤングケアラーとは、祖父母や両親、きょうだいなど身近な家族が病気や障がい、精神的な問題などを抱えているため、その介護や世話をしている18歳未満の子どもで、国内に約10万人との推計も。国の調査では周囲からの孤立や学業・健康面への悪影響が浮き彫りになりましたが、コロナ禍による経済的困窮などでさらに追い詰められる懸念もあります。

公明党県議団は県知事に対し、ヤングケアラーや子育てと老親などの介護を同時に担うダブルケアラー、老々介護など、さまざまな課題を持つ介護者への支援強化を求めてきました。「第8期かながわ高齢者保健福祉計画」では「介護者(ケアラー)に対する支援」を初めて明確化しましたが、介護の対象は高齢者だけではありません。

ヤングケアラーの支援に向けた厚労省と文科省のプロジェクトチーム(共同議長/山本博司厚労副大臣=公明党)は、悩みを共有できる環境を一刻も早くつくり、早期発見・支援につなげるとしています。神奈川県としても早急に実態調査に取組むよう働きかけていきます。

## 高齢者接種、横浜も7月末までに

新しいワクチンの開発はおろか、海外からの導入にも消極的な日本。理由あってのことですが、それについては改めて。そんなわが国でも、いよいよ新型コロナワクチンの接種が本格化してきました。菅総理が4月23日の記者会見で、希望する高齢者に7月末を念頭に2回の接種を終えられるよう取組むと発言し、横浜市など全国の自治体はスケジュールの前倒しに取組んでいます。(自治体には6月最終週までに全高齢者に2回接種できる量のワクチンを配送)

しかし、それには自治体が直面する諸問題——①ワクチンは2週間単位で配分されているが、供給量の全体像が見えないと接種計画を進められない②医師や看護師等、医療従事者の確保が困難——などを解決する必要があります。

①については、4月30日に6月最終週までの県と市町村別の供給量が示されました(神奈川県・横浜市については別表(1)の通り)。ワクチンを安定的に保管する上でも、1クール(2週間)の中での供給間隔をできるだけ均等にすることなどが求められます。

②については、これまでも県や市の懸念を公明党コロナワクチン接種対策本部に伝え、接種対価の引き上げ等を行ってきましたが、このたび、個別接種促進のための新たな財政支援を行うこととなりました。1日50回以上の接種を行った医療機関に1日10万円を交付するほか、別表(2)(3)のような追加支援策を講じます。



# 新型コロナワクチン



## 個別、大規模接種もご活用ください

「電話が繋がらない」「ネットでの予約もすぐに枠が埋まってしまう」など、この記事を書いている5月26日現在でも、接種の予約が取りにくい状況が続いていますが、今後ワクチンは安定的に供給されていきます(別表(1))。必ず接種を受けられますので、ご安心ください。

個別接種の予約ができる旭区の医療機関については、厚生労働省の「コロナワクチンナビ」を、神奈川県民も受けられる東京での大規模接種については「自衛隊東京大規模接種センターWEB予約サイト」を、それぞれ検索の上、ご参照ください。みなとみらい(横浜ハンマーヘッド)で行われる横浜市の大規模接種については、おの で ら 慎 一 郎 Website に情報を掲載いたします。

お問い合わせは横浜市ワクチン接種コールセンターまで。  
電話: 0120-045-070  
ファクス(耳の不自由な方用): 050-3588-7191

別表(1)横浜市・神奈川県へのワクチン配分状況  
(ファイザー社製ワクチン)

	横浜市	神奈川県
人口	3,754,772人	9,209,442人
65歳以上の人口	918,525人	2,304,899人
接種回数(1人2回)	1,837,050回	4,609,798回
5/23までに配分済みワクチン	493,350回分	1,351,935回分
5/24~6/6 決定配分量	315,900回分	1,063,530回分
6/7~6/20 決定配分量	455,130回分	1,030,770回分
6/21~基本計画枠	388箱=453,960回分	951箱=1,112,670回分

●人口は令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(都道府県別)による

### 別表(2)医療関係者への支援強化について 接種対価の引き上げ

接種1回当たりの現在の対価
平日2,070円 時間外2,800円 休日4,200円

週100回以上の接種を7月末までに4週間以上行う場合、1回当たり2,000円、週150回以上の場合は3,000円を別途交付。(例)平日2,070円を4,070円か5,070円に

### 別表(3)集団接種会場への医師等の派遣と同額を個別接種の病院にも交付

医師	1人1時間当たり	7,550円
看護師等	1人1時間当たり	2,760円

病院が接種のために人員を確保し、1日50回以上の接種を週1日以上達成する週が7月末までに4週間以上ある場合に派遣と同額を病院に交付

新型コロナ対策  
随時更新中!

新型コロナで暮らしやビジネスに影響を受けた県民・事業者の皆様  
に対する支援策を「おの で ら 慎 一 郎 Website」に掲載しています。

検索 おの で ら 慎 一 郎

www.onodera-s.com



# 白根通り [斉藤橋前]が 広がりました

川を覆う形で道路などを設置することは河川法で厳しく制限されているため、白根通りの拡幅工事についても中堀川に架かる斉藤橋付近が手つかずの状態でした。



安心して歩ける道になりました



大型バスもすれ違えるように

しかし、ここは道幅が狭いことから十分な歩行スペースを確保できず、過去に小学生が重傷を負う事故も発生している危険箇所。拡幅は地域にとって永年の願いでした。

私は地域の方々の声を受け、当時の神奈川県副知事に「(道路を造る)横浜市も法律の許す範囲で拡幅が図れるよう工夫したいと言っている。河川管理の権限を持つ県として、前向きに対応するよう」要請いたしました。

その後、県と市の調整が進み、昨年から工事が行われてきましたが、このほど完成。車道を7m幅に広げ、その両側に約2m幅の歩道が設置されました。



河川法をクリアした新たな護岸

## 二俣川駅南口を時差式信号に

万騎が原から二俣川駅南口に至る(自然公園通り)。駅前交差点がネックとなり、激しい渋滞が常態化していました。

ジョイナステラス側から出てくる車が途切れるのを待っているうちに信号が赤に変わってしまい、本宿方面に右折する車が進めなくなるために起きていた渋滞でした。

そこで私は昨年10月、右折時間を担保するため「時差式」信号を要望。当初警察は鴨居上飯田線の一部供用に合わせてとの方針でしたが、現状を理解していただき、3月中の整備が実現しました。



約10秒の時差で渋滞が改善

# 「安全」「円滑」な交通のために

## 今宿東町 遊歩道の やぶを刈る

帷子川沿いの河川管理用通路に造られた遊歩道。一部につる性の雑草などが繁茂し、人が歩けないだけでなく、並木道の美観を損ねておりました。旭土木事務所にお願ひし、雑草をきれいに刈っていただきました。



(施工前) ⇒ (施工後)



## 笹野台2丁目十字路安全対策

野境道路から金が谷方面への抜け道として利用する車が速度を上げて下る「境友坂」。その途中の十字路です。境友自治会館の裏で、すぐ近くに保育園もあります。ここも西川島町と同様の赤枠と+マークに加え、路側帯を示す白線をペイントしていただきました。ドライバーに車道を狭く感じさせることで速度抑制も期待できます。また、横断歩行者に対する注意を喚起するために、見えにくくなった横断歩道の塗り直しも求めています。



(施工前) ⇒ (施工後)



## 西川島町十字路安全対策

国道16号線の回らずし「ぐるめ亭」前から西川島町公園を経て鶴ヶ峰方面に至る路線で、道幅は狭いのですが、抜け道として使われることもあり、交通量は少なくありません。ルート上にある十字路(西川島町31番地前)には、横断歩道や通学路の標識、カーブミラーが設置されていますが、ドライバーに一層の注意を促すため旭土木事務所にて交差点を示す赤枠と+マークをペイントしていただきました。



(施工前) ⇒ (施工後)



## 県営団地を 住みやすく

県営今宿団地においては、これまでも住民の方々のご要望に応じ、通路の舗装や階段のスロープ化、手すりの設置などを行ってまいりました。今回は、4号棟と5号棟の間の階段のスロープ化と、8号棟と9号棟の間の通路が未舗装でしたので階段・手すりとおわせて整備しました。残るご要望箇所についても早期に修繕できるように努力します。

